

滋賀県立

聴覚障害者センター

だより



—53号—

発行日/平成21年5月30日

発行所/草津市大路2丁目 11-33

TEL 077-561-6111
077-561-6133

ホームページ
<http://www.shigajou.or.jp>

専門性の高いセンターをめざす

所長 石野 富志三郎

- 県立聴覚障害者センターは、指定管理者として4年目を迎えます。各市町が行う聴覚障害者施策の展開と深く関わりながら、さらに聴覚障害者福祉の専門性を高めていくためには次のように考えています。
- (1) 県立福祉施設の管理運営および聴覚障害者コミュニケーション確保対策事業等の円滑化をめざす。
 - (2) 市町におけるコミュニケーション支援事業の構築への働きかけおよび遠隔地など含めたネットワークづくりをめざす。
 - (3) 聴覚障害者の地域生活を支援する事業の拡充をめざす。
 - (4) 中途失聴難聴者対策の強化を図る。
 - (5) 手話通訳士者および要約筆記者

の養成、ボランティアの確保をすすめていく。

具体的には、

- ① 聴覚障害者向けビデオライブラリー事業
地域の情報等における聴覚障害者向けの番組の自主制作を行う。同時に著作権の法改正を見極めながら、またデジタル化に備えて今後の事業のあり方について検討を行う。
- ② 手話通訳者・要約筆記者の養成と派遣
手話通訳者・要約筆記者を計画的に養成するとともに、個人や団体等の依頼に応じて適切な手話通訳者・要約筆記者派遣を行う。
- ③ 情報・コミュニケーション機器

の貸出事業

聴覚障害者のコミュニケーション活動等を支援するため、各種情報機器の貸出を行う。

④ 聴覚障害者に対する相談事業

聴覚障害者およびその家族等を対象にした各種相談を行う。

⑤ 聴覚障害者の学習、レクレーション、文化活動の支援事業

聴覚障害者団体等が行う文化活動の支援を行う。

⑥ 啓発事業

「聴覚障害者センターだより」を発行するなど広報啓発活動を行う。

⑦ ボランティア、聴覚障害者団体等に対する便宜供与
聴覚障害者関係団体長会議等の開催や利用者のニーズに沿った運営をすすめていく。

積極的に取り組んでいきたいので、ご協力をお願いします。私共職員は全力を尽くします。

平成21年度

手話通訳認定証授与式

第1回登録者研修会を開催

4月26日(日)に草津市立まちづくりセンターに於いて、平成21年度手話通訳者の認定授与式と登録手話通訳者研修会を開催しました。

午前中は、16人の新規登録手話通訳者に、県立聴覚障害者センター所長から「手話通訳者の証」の授与を行いました。センター所長、社団法人滋賀県ろうあ協会会長から激励の挨拶を受け、真剣な表情で視ておられた姿が印象的でした。

午後からは、北原照代氏(滋賀医科大学社会医学講座・衛生学)を講師に、よりよい手話通訳や要約筆記の環境づくり、制度、担い手の健康

状態等の問題について関係者相互が共に考え合うことを目的とした「健康管理合同学習会」を開催しました。講師からは手話通訳者と要約筆記者の検診結果の報告を受け、当事者団体(県ろうあ協会・県中途失聴難聴者協会)・手話通訳者・要約筆記者のグループに分かれ、意見交換を通してさらに研修を深めました。

当日は、16名の市町の障害福祉担当職員や設置手話通訳者の方々も含め100名を超える関係者が集まり、有意義な研修会となりました。

今年も湖北で教室・相談を行います

センターは、滋賀県内すべての聴覚障害者を対象に様々な事業を実施しています。20年度からは湖北地域においても生活相談や生活訓練、IT相談を以下の日程で実施します。どの事業も聴覚障害者の方に対応できる職員や体制を整えています。受講はすべて無料ですが、事前の申込みが必要となりあ。お気軽にご参加ください。詳しくは、センターにお問い合わせいただくか、ホームページをご覧ください。

事業名	内容	開催日	開催地域
生活相談	きこえない方やその家族、関係者からの相談に応じます。	6月より2ヶ月に1度程度	長浜市周辺
いきいき教室 (日曜教室事業)	日常生活に必要な知識や情報を学び、またレクリエーションなど交流を行います。	毎月第3木曜日	米原市周辺
IT相談	パソコンのことでお悩みの方に対して手話・筆談でコミュニケーションできる聴覚障害者の相談員がお話を聞きます。	毎月第1木曜日	長浜市周辺
聴力相談	聞こえにくいことでお困りの方に対して、聴力検査、補聴器の適合、その他情報提供を行います。	①6月4日(休) ②8月6日(休) ③12月5日(土) ④3月5日(休)	①虎姫町 ②木之本町 ③長浜市周辺 ④米原市周辺

滋賀県立聴覚障害者センター 新職員の紹介

佐藤 浩子 (さとう ひろこ)

臨時雇員・管理運営グループ

このたび、縁あって、センターでお世話になることになりました。久しぶり(なんと17年ぶりです)の事務仕事に戸惑いながら、また、手話の勉強を始めて2年。まだまだ下手ですが、いろいろな方とお話できるのを楽しみにしています。よろしくお祈りします。

木村 真知子 (きむら まちこ)

臨時雇員・管理運営グループ

このたび8年ぶりにセンターでお世話になります。木村真知子です。長女が1歳半の時センターを退職し、あれよあれよという間に小4、小2、4歳児と3児の母になりました。(アラフォーです!!)この8年間チビ達をおいかけてきたので、肉体労働はやっていましたが、頭を使うこと、じっとしていること、あまりなかったのが少々不安ですが、また久しぶりに皆さまにお会いできることを楽しみにしています。どうぞよろしくお祈りします。

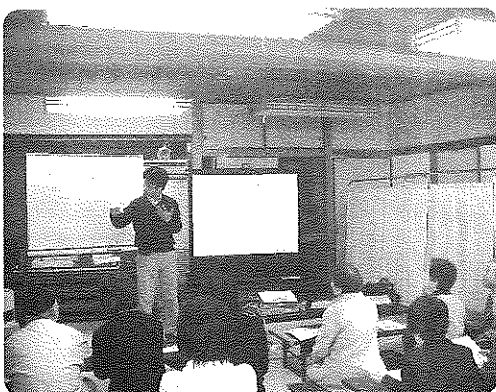
よく聴く言葉 地上デジタル放送(地デジ)ってなあに!?

3月26日(木) 長浜市社会福祉センターで、「よく聴く言葉」地上デジタル(地デジ)ってなあに!」をテーマに聴覚障害者のための生活相談会公開講座(聴覚障害者対象)が開かれました。

参加者は20名。ろうあ者や難聴者、難聴児の親御さんも聞きに来られていました。当センターの聴覚障害者向け映像制作の職員が地デジについて、アナログ放送が終了する理由、地デジになればどう変わるのか、地デジを見るにはどうするのかなど、社団法人デジタル放送推進協会から借りた手話・字幕付きの解説DVDを使って解説を行いました。(社団法人デジタル放送推進協会ホームページ <http://www.dpa.or.jp/>)

2年後に迫った地上デジタル放送。多くの方が興味あるようです。質疑応答の時間では、今あるテレビを使用して地デジを見るにはどうしたらいいのか、字幕放送はどうなるのか、字幕放送を録画するにはどうしたらいいのかなど、具体的な質問も出さ

れ、中には現在大画面の液晶テレビで片方の画面でスポーツ中継をみながら、もう一方の画面で字幕放送のドラマを見ている方もいて、片方で2画面にすると字幕が小さくなるので、地デジになれば字幕が大きくなるのかなど、思ってもみなかった質問も出されました。字幕放送の時間が増え、みなさんそれぞれで工夫されて見ているようですね。あわせて、字幕放送や障害者放送統一機構の「目で聴くテレビ」はどうなるのかなども解説。あつというまに2時間が経ちました。



〈平成21年度 養成事業予定表〉

講座名	受講者対象	定員	会場	開催期間
手話ボランティア養成 入門	手話学習の経験のない者。又は、手話学習経験が概ね1年未満の者で全講座を履修できる者。	40名	センター	7月13日～10月26日 (毎週月曜日) 午後1:30～4:30
手話ボランティア養成 基礎	手話を駆使して特定の聴覚障害者と日常会話が可能な者。又は、手話サークル等での活動経験が概ね2年以上の者。いずれも全講座を履修できる者。	40名	センター	6月12日～9月25日 (毎週金曜日) 午後1:30～4:30
手話通訳者養成 基本(昼コース)	手話で日常会話が可能な者。又は手話サークル等での活動経験が概ね3年以上の者。いずれも全講座を履修できる者。但し予めの面接などの審査で実施主体が適当と認めた者。	20名	センター	10月7日～3月3日 (毎週水曜日) 午後1:30～4:30
手話通訳者養成 基本(夜コース)		20名	センター	10月8日～3月11日 (毎週木曜日) 午後7:00～9:00
手話通訳者養成 応用・実践(昼コース)	平成20年度手話通訳者養成講座基本過程の修了者。又は、同等の知識や技術を有する者で実施主体の長が認めた者。	20名	センター	4月7日～11月17日 (毎週火曜日) 午後1:30～4:30
手話通訳者養成 応用・実践(夜コース)		20名	近江八幡 市内	4月6日～11月16日 (毎週月曜日) 午後7:00～9:00
手話通訳士養成	平成21年度手話通訳技能認定試験(手話通訳士試験)の受験を予定している者。	10名	センター	6月25日～10月1日 (隔週木曜日) 午後1:30～5:00
盲ろう者通訳・介助者養成	盲ろう者の福祉に理解と熱意を有し、県内在住または在勤で18歳以上の者。講座修了後、滋賀県盲ろう者通訳・介助者派遣事業に登録し活動できる者で、概要説明会(9/3 10:00～)に参加できる者。	20名	近江八幡市烏合 福祉センターひ まわり・滋賀県 視覚障害者セン ター(彦根市)	9月24日～2月25日 (毎週水曜日) 午後1:30～3:30
要約筆記養成講座(後期) (手書き・パソコン)	20年度講座(後期)修了者	40名	センター	4月15日～9月16日(毎週水曜) 午後1:30～4:30 コースにより一部受講日が変わります。
要約筆記養成講座(前期) (手書き・パソコン)	県内在住、在勤の18歳以上で聴覚障害者への理解がある方、2カ年にわたる養成講座を受講できる方。	40名	センター	9月3日～1月28日(毎週木曜) 午後1:30～4:30 コースにより一部受講日が変わります。
要約筆記者 指導マネジメント講座	講師を目指す聴覚障害者と県登録要約筆記者	左記の内容に該当される方	センター	5月15日(手書き) 8月30日(PC)

〈その他のお知らせ〉

手話通訳士技能認定試験	学科試験：10月3日(土) 実技試験：10月4日(日)
登録手話通訳者研修会	4月26日(日)、6月28日(日)、 7月26日(日)、9月6日(日)、 1月9日(土)、3月13日(土)
登録要約筆記者認定試験	12月12日(土) 手書き 12月13日(日) PC
登録要約筆記者研修会	5月10日、6月28日、 8月23日(手書き)、10月11日(手書き) 11月15日(PC)、2月21日(PC)

滋賀県警察メール110番の メールアドレス変更のお知らせ

聴覚障害者メール110番として運用されておりますメールアドレスが変更されました。ご利用の際はご注意ください。

1. 変更年月日
平成21年3月31日
2. メール110番の新メールアドレス
shiga110_tsushin_shirei@shiga110.jp

★「きこえの相談」と

「聞こえのサロン」のお知らせ

聴覚障害者センターでは、第2・3火曜日の午後、に「きこえの相談」を開催しています。専門家を招いて、悩み相談や聴力検査に応じています。また、「聞こえのサロン」も開催しています。このサロンでは、難聴の方が、コミュニケーションや日常生活に関する情報(例：残存聴力を活用して電話で会話する方法。テレビを楽しむ方法。きこえにくい状況を周囲の人にどのように理解してもらうか。など)の相談に応じています。是非、お気軽にお越し下さい。

* 事前予約制です。申込みを希望される方は、聴覚障害者センターにご連絡下さい。

〈きこえの相談〉

場所：県立聴覚障害者センター

日時：毎月第2・3火曜日(8月11日を除く)
午後1:30～3:30

〈聞こえのサロン〉

場所：県立聴覚障害者センター

日時：6月13日、9月19日
12月5日、3月13日 土曜日午後

* 12月5日の開催場所はセンター外です。

新しいビデオが入りました

平成20年度 新作ビデオリスト字幕ライブラリー共同事業後期分（平成21年3月）

平成20年度 厚生労働省委託番組

<p>【VHS作品】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 壁を拓く、社会を開くⅢ 平成のろうあ運動 〈手話ビデオ〉 ○ 手話かみしばい みにくいアヒルの子・赤ずきんちゃん 〈手話ビデオ 字幕付き〉 	<p>【VHS：DVD作品】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ きょうの健康 早めに対処！子どもの耳の病気 ・かぜの後は注意 急性中耳炎 ・難聴のサイン 滲出性中耳炎 ・耳にやさしく 外耳炎 ・Q&A ○ 壁を拓く、社会を開くⅢ 平成のろうあ運動 〈手話ビデオ 字幕付き〉 ○ 手話かみしばい みにくいアヒルの子・赤ずきんちゃん 〈手話ビデオ〉
---	---

情報提供施設寄贈番組

<p>○ ためしてガッテン 新発想！ 酔のマジックパワー超活用術 （とちぎ視覚障害者情報センター）</p> <p>【VHS作品】</p>	<p>○ その時歴史が動いた 龍馬が愛した女、 ～幕末、愛と別れの物語～ （群馬県聴覚障害者コミュニケーションプラザ）</p> <p>【VHS作品】</p>
--	--

寄贈作品：環境省

<p>○ 地球温暖化 今、わたしたちにできること ダイジェスト版 【DVD作品】</p>
--

寄贈作品：財団法人東京救急協会

<p>○ 身につけよう応急手当 ～聴覚障害者版～ 「普通救命講習 テキスト付き」 【DVD作品】</p>
--

寄贈作品：日本映像企画

<ul style="list-style-type: none"> ○ てんびんの詩 （第1部：原点編、第2部：自立編、第3部：激動編） ○ にんげんだもの 夫婦だもの

寄贈作品：NHK厚生文化事業団

<ul style="list-style-type: none"> ○ 福祉ネットワーク シリーズ 障害者の就労 ① “就労移行新事業” は今 ○ 福祉ネットワーク シリーズ 障害者の就労 ② 働き続けるしくみをつくる ○ きょうの健康 正しく知ろう 統合失調症 ・症状や原因を知る ・最新の薬物治療 ・自立した社会生活に向けて
--

ブログ「グリムスの木」が成長！

— 昨年からのブログの開始とともに育てていた
ブログパーツ「グリムスの木」が、もうすでに
3本も大人の樹に成長しました。



※ NHK厚生文化事業団でも、福祉ビデオライブラリーとしてNHKで放送した福祉関連番組のビデオやDVD、自主制作品などを無料で貸し出しています。
詳細はこちらまで ↓ NHK厚生文化事業団ホームページ
<http://www.npwo.or.jp/library/video/>

来年度の手話ボランティア養成、手話通訳者養成事等で使用する読み取り学習用の教材（DVD）を作成しました。

聴覚障害者の方々に、日常の暮らしや、福祉など様々な話を撮影してまとめたものを講座で使います。講座の案内は前ページの一覧をご覧ください。

タツノオトシゴ

宇宙飛行士若田光一さんが、国際宇宙ステーションで3ヶ月間の滞在中。その間世界中の子どもたちとアマチュア無線で交信を頻繁に行い、宇宙を身近に体験ができるようになった。ソ連の人工衛星スプートニクが宇宙を飛んで半世紀。天気予報の「ひまわり画像」や通信など、人工衛星の活用は生活のすみずみにまで及んでいる。日本の月周回衛星「かぐや」から送られたハイビジョン画像も話題を呼んだ。「宇宙時代」は、人類の視野を、革命的に広げてきた。

その一方で、「宇宙から地球へのまなざし」という新たな視点をもたらしてくれた。観測衛星が地球を周回した結果、温暖化やオゾン層の破壊などが明らかになり、その対応への地球的な連帯が模索されている。

人は「外からのまなざし」を意識することで、自身の内に倫理観を形成してきたともいえる。作家の吉川栄治氏は、亡き母に常に見守られているから、“悪いことはできないし、怠けられない”と綴った。

多忙な日常の中で、気がつけば自分の狭い視野の中だけに生きていることはないだろうか。周りに暖かいまなざしを向ける余裕は持ちたいものだ。「宇宙からのまなざし」をお互いに感じれば、自然に環境は変わっていくと思う。

H. S